

桜岡

学校だより 1月号

桜一第45号

令和5年1月10日

桜岡小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakuraoka>

明けましておめでとうございます

～本物と出会うよさを実感して～ 校長 後藤 俊哉

雪下出麦（ゆきわたりてむぎのびる）候となりました。昨年は様々な行事等でご協力いただきありがとうございました。コロナ禍ではありますが、運動会、各学年の遠足・宿泊行事等を無事終えることができました。子どもたちにとって充実した経験となりました。保護者や地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業（芸術家の派遣事業）として、12月15日（木）16日（金）2日間にわたり、雅楽のワークショップが6年生対象に行われました。雅楽は1500年程前にシルクロードなどいくつかの道を通して、大陸から日本に伝わったものがもとになっていて、「世界最古のオーケストラ」とも言われています。6年生の教科書には共通教材として「越天楽今様」がありますが、そのもとになる「越天楽」はこの時期になるとよく耳にする曲で、もとは雅楽で演奏される曲です。その旋律に歌詞をつけたものが「越天楽今様」で、平安時代の中ごろから行事の時などにいろいろな歌詞で歌われたといわれています。

雅楽には、楽器の演奏による「管絃」（管弦）と呼ばれる種類の他に、舞を主とするものや歌を主とするものなどがあります。使われる楽器は笙、龍笛、篳篥、琵琶、箏、鞆鼓、太鼓などですが、今回は、越天楽の演奏を聴くだけでなく、鞆鼓、太鼓などの打物の演奏の仕方を学習し、実際に演奏体験を行うことができました。「笙や龍笛、篳篥などの生の音は、思ったよりも大きく、心に響きました」「お正月によく聴く曲でしたが、実際に聴いてとても迫力がありました」「実際に打ってみると思ったより難しく、ドキドキしました。一緒に合わせられてとてもよい体験でした」などの感想が聞かれました。

12月5日（月）～9日（金）の人権週間では、6日（火）テレビ放送にて「続・こころのふしぎなぜ？ どうして？」（高橋書店）を引用し、「人間って、何？」「自分って、何？」「『やさしい』って、どんな気持ち？」「『ふつう』って、何？ その『ふつう』、本当にふつう？」について話しました。

以下は子どもたちの感想です。

- 人権とは、人が人らしく生きることや、みんなでなかよくすること、そして命を大事にすることなど、いろいろな意味のことを言うんだということを知りました。
- 友達に自分のふつうをおしつけないように気をつけたい。自分らしさを大切にしたい。人間はいろいろなことを考えるから、どの考えも大切にしたい。
- 人間はいろいろな心をもっているんだと思いました。人との関係を大切にしようと思いました。
- 人は大切だし友達を大切にするんだなと思いました。人をやさしくしたいです。友達と心をおだやかにしたいです。
- 世界の子どもたちが豊かに暮らせるような行動をしたいです。すべての人間が豊かに暮らせるようにしたいです。



このことをきっかけに、人権について自分ごとで考える機会が増えてきたら嬉しいです。

12月21日（水）子どもたちが楽しみにしていた「さくらっ子マーケット」が開催されました。「未来にすすもう いい輪をつないで 3R」をスローガンに取り組みました。子どもたちは楽しそうに活動していました。この活動で3Rについて感じ取ってもらえたら幸いです。ご協力ありがとうございました。